

# ひるがみ

第 86 号

令和4年7月16日

発行

障害者支援施設  
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>

## 「人生楽ありや苦もあるさ」

園長 岡庭保人

最近、かつてヒットしたドラマの再放送がよく放映されていてます。紋切り型の勧善懲悪番組は何回見てもスカツとします。利用者さんにとってもテレビは最も大きな楽しみの一つ。皆さん普段は居室ですが、夕飯前のひと時食堂の大型テレビを仲良く並んで鑑賞している姿には、私も職員も心癒されます。

令和四年度も、はや四分の一が過ぎました。ここに来て落ち着いてきた感はあるものの新型コロナウイルスに振り回され、利用者さん、職員ともに溜まるのはストレスと疲労ばかり。利用者さんにとっては

「日本のチベット」南信州がより隔絶した地を感じられた二年間だったのではないでしょうか。

コロナに翻弄された令和三年度でしたが、でき得る対応策は進めてきました。年度内に利用者さん、職員のワクチン接種を三回行いました。また、WiFi設備工事を実施し感染症蔓延時に医師と看護師がタブレットを用いて指示を授受できるオンライン診療体制を整えました。

行政の迅速な対応にも感謝いたします。阿智村からの補助金や配布された簡易検査キットの活用、飯田市在住

職員は市より無償配布されるキットを効率的に利用することにより安心して勤務できる体制を整えることができました。県指定の病院や薬局による無料検査にも助けられました。

今回のコロナ禍により、私どもの施設は、周囲のあらゆる方々や機関の支援なしでは成り立たないことがよく理解できました。南信州圏域とりわけ地元昼神地区、阿智村役場を中核とした村内福祉施設との連携こそがこれからの不透明な時代において実現しなければならぬ喫緊の課題であることを痛感しています。



療護園裏側の花桃通り風景。

# 卵の殻

養護学校の高等部にいた頃、早く終わらんかなあ？と思って退屈しながら聞いていた校長講話の端々が最近、ふと思いつき起されるのです。その一つが「啐啄同機」。

これは鳥の雛が孵る際に、雛の動きに合せて親鳥も卵の殻を外からつつく微妙な間合を説いた禅の言葉なのだそうですが、療護園における利用者と支援員との切実な関係にも当て嵌まる表現と理解してもよいのではないかと、思うようになりました。

つまり、支援員さん達は、自ら意思表示がでない重度障害者の差し迫った訴えをその都度、的確に酌みとっ

て下さっている訳です。簡単に破れそうで実は絶望的に固い「障害」という殻。その殻の奥から必死で生きる人間の叫びを適期、しかとキャッチする「支援」の尊さを痛切に感ずるこの頃です。

(利用者K・H)

## 新任職員挨拶



今年の四月より生活支援員として働いております、石原涼と申し

## 介護員室だより

ふとニュースを見ると、六月十日より海外の方からの日本への旅行が解禁になったとの報道を目にしました。世間的にはウィズコロナが進んでいるのだと思いきや知らされましたが、当園の様な介護支援施設では、今もなお常に緊張感をもって

日々の生活を送っています。特に職員は業務以外の日常生活においても、コロナに罹患する可能性を考えて行動し遠方への外出を制限し、また県外からの来訪者(家族でも)に会う事も極力なくすように努めています。利用者様は基礎疾患をお持ちの方が多く、コロナに感染した場合命に直

結する事があると認識しているのが当然なのです。願わくば医療の進歩によって、経口摂取による特効薬が開発され、利用者様も職員も自由に行動出来る日が一日でも早く来ることを願わずにはられません。(M・T)



ます。三月に短大を卒業し阿智温泉療護園に就職させていただきました。

短大の一番初めの実習を療護園でさせて頂き、障害者の介護について深く学ぶ事ができました。コロナが流行し対応に追われる中、

職員の皆さんが丁寧に指導してくださったことを鮮明に覚えていきます。

小さな頃から在ることは知っていたけど中は分からない場所、そんな療護園に就職し、短大で学んだ知識を生かしながら、利用者さんの望

む暮らしを支援できるように精一杯日々の仕事に取り組んでいきたいと思えます。まだまだ未熟で至らない部分が多いと思いますが、精進していきますので何卒よろしく願います。(I・S)



# お花見ドライブ&散策

四月の上旬から中旬にかけて、昼神温泉周辺に咲いている花桃を利用者様に見て頂くとお花見ドライブを行いました。コロナ禍で人との接触を避けるため、車内からではありませんが、国道沿いの花桃通りをドライブし楽しんで頂けたと思います。花桃は咲いてい



る期間が決まっている為、園長・常務にもドライブになつて頂き、全利用者様がドライブに行ける様に時間の調整をしながら行いました。阿智村周辺の花桃は全国的にも有名で、土・日曜日になると県外ナンバーの観光客と思われる車で国道が渋滞する程でした。当施設は昼神温泉内にあり、少ない移動でこ

の景色を楽しむ事ができて利用者様も喜んで頂けるため毎年の楽しみ行事にしていきます。(K・T)

また、四月十三日のお昼は「お花見弁当」でした。利用者様は「美味しい 美味しい」と舌鼓を打って、いつもよりたくさん召し上がっていました。

ある利用者様は「お腹いっぱい。もう入らない。」と大満足の様子でした。



# レクリエーション

レクリエーションでは、職員が趣向を凝らして利用者様に楽しんで頂いています。



職員扮する御嶽川関と いざ! 勝負!!



利用者様の間でひそかに韓流ドラマがブームとなっています。

## 令和三年度苦情対応

- ・ 職員の接遇に関するもの 一件
- ・ サービスの質・量に関するもの 一件
- ・ 事業所の建物の構造に関するもの 二件
- ・ 利用者のトラブルに関するもの 二件
- ・ その他 他
- ・ 施設の施設(知的障害者支援施設)に早く移りたい

# あじさい会



紙コップボウリングの様子

六月二十九日あじさい会が行われました。コロナ禍で園内でも振り回されることが多い中、無事開催する事が出来ました。レクリエーションはボウリングと玉入れを行いました。ボウリングはゴムボールを投げて紙コップのピンを倒すというシンプルなゲームで、皆さん多くのピンを倒そうと力いっぱい投げていました。沢山倒れ

ると歓声が沸きとても盛り上がりました。玉入れはピンポン玉を投げて紙コップに入れるゲームです。職員が利用者と協力してピンポン玉を投げる姿は微笑ましく、失敗しても「がんばれ！」と励まし合い和気あいあいとした雰囲気があふれ出ていました。この二つのゲームで利用者と職員の間関係もより深まっ



玉入ゲームの様子です。高得点の小さな紙コップをよ〜く狙ってピンポン玉を投げました。さて結果は…



色とりどりの海鮮ちらし寿司

たのではないかと感じました。食事も豪華メニュー「海鮮ちらし寿司」と「茶碗蒸し」、「デザート三種盛り」で華やか



園内の飾り付けの様子

な献立に皆さんの目も輝いていました。もちろん見た目だけではなく味も絶品で「おいしかったたよ〜」と普段あまり褒めない利用者さんも絶賛してくれ大満足で締めくくる事が出来ました。皆さんのご協力のおかげで良い集いが開催できました。来年はご家族も揃って楽しめればと思っております。(Y・N)

## 現況報告

令和四年七月一日現在  
利用者 四十四名  
職員 四十四名  
(非常勤職員を含む)

## 編集後記

六月二十七日、気象庁は九州南部、東海、関東甲信で梅雨明けを発表しました。また今後はさらに厳しい暑さとなる事が予想されます。日々のコロナ感染症対策にも気を配っていきたいと思います。これからも利用者さんとご家族が健康で暮らせますように。(K・Y)